

2022-23シーズン活動報告

トヨタアルバルク東京株式会社

アルバルク東京の社会的責任

アルバルク東京は、世界的大都市東京を拠点とし、「地域とともに成長し、世界を目指すスポーツクラブ」を目標に、バスケットボールのゲームを通して夢と感動を届ける事業を運営しています。

世界共通の目標であるSDGsの達成に一丸となって行動を起こすべき今、アルバルク東京はBリーグの社会的責任プロジェクト「B.LEAGUE Hope」と同様に「オフコートの3Point」をコンセプトとして、2021-22シーズンより「ALVARK Will」をスタートいたしました。

ALVARK Willの「Will」には、"未来"や"意思"という意味が込められています。クラブスローガンでもある「WE」の力で笑顔あふれる未来を作るべく、ファン、地域、パートナー企業と一緒に全力で取り組んでまいります。



代表挨拶 MESSAGE

2021-22シーズンからスタートしたアルバルクの社会的責任プロジェクト「ALVARK WIII」は2023-24シーズンで3シーズン目を迎えました。この2年間、多くのファンの皆様、地域社会、パートナー企業と社会課題の解決に向けてたくさんのプロジェクトに取り組んでまいりました。

ホームゲーム会場内では環境にやさしい取り組みとして、マイボトルの推進やカップの洗浄リサイクル、脱プラスチッククッションシートの設置、CO2を発生させない水素電源による電力供給なども行いました。

オフコートにおいても子供たちの笑顔を増やすために選手やチアリーダーが学校や児童館などに訪問して一緒に体を動かしたり、防災の啓発活動を行うなど、コミュニティの活性化につながる取り組みを行っております。

また、2025年にはお台場・青海地区に新アリーナである「TOYOTA ARENA TOKYO」の竣工を迎えます。 新アリーナではコンセプトの一つに「サステナビリティ」を掲げております。

アルバルク東京がこれまで培ってきた「人と人をつなぐ」スポーツの力を加え、さらに地域社会の発展と社会への貢献に尽くすとともにSDGsの達成に向けて取り組んでいく事をお約束いたします。

トヨタアルバルク東京株式会社 代表取締役社長 林 邦彦



オフコートの3Point

アルバルク東京は、ALVARK Willの活動を通して、「オフコートの 3 Point(Planet, People, Peace)」の各分野における地域社会に根差した社会課題・社会問題の改善に 努め、ファンの皆さまや地域社会、パートナー企業様とともにSDGsの達成に貢献します。

そして、健全な地域社会・日本の発展に寄与し、また世界と協働し、次世代に希望ある未来を届けられるよう、全力を尽くします。

PLANET















地球環境・気候変動(危機)問題への取り組みは、私たちがプロスポーツ事業を運営していく上で最も重要な課題です。 アルバルクは、世界一丸となって取り組んでいくべきこの重要課題に対するコミットを表明するため、国連「スポーツ 気候行動枠組み I に署名し、CO2排出削減に貢献いたします。また、環境に配慮した事業運営に努め、アルバルクコミ **ュニティをリードして地球環境に貢献するための活動を継続的に実施**してまいります。

また、世界最多の競技人口を誇るバスケットボールを事業とするクラブとして、アルバルクは、ファンやパートナー、 また地域社会、そして世界バスケットボール界とも手を携え、これから生まれてくる子どもたちのためにも、地球を守 り、環境の改善に務めます。

PEOPLE

















アルバルクは、アルバルク・コミュニティにおいて、弱い立場、苦しい状況にある人々に支援の手を差し伸べ、人権・ ダイバーシティ等に関する人的環境の改善に取り組みます。

また、経済的・社会的に恵まれない境遇にある子どもたちや、苦しい状況にある人々にスポーツの力で笑顔や希望、勇 気を届け、より多くの方々が健康で豊かな生活を送ることができるようサポートします。

PEACE







アルバルクは、地域社会の人々が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。また、スポーツの力を活用した防災・減災 の意識向上のための活動に従事します。

さらに、世界共通言語としてのスポーツ、そして世界最多の競技人口を誇るバスケットボールを事業とする世界を目指す プロチームとして、世界の人々がスポーツを通じてつながり、平和を実現するための活動に尽力します。

SDG s は、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。地球上のすべての人が取り組むこととしての共通認識があり、「誰一人取り残さない」というキャッチコピーを 掲げているところに特徴があります。SDG s の17の目標は、相互に複雑に絡み合っていますが、17番目の目標は、目標達成のために様々な機関が協力することを掲げています。



PLANET

ホームゲームで排出される二酸化炭素(CO2)量を測定し、カーボンオフセットに取り組みました。





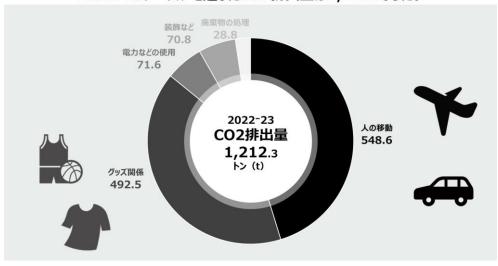


CO2排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」の開発及び運営を行うe-dash株式会社とSDGsパートナー契約を締結し、2022-23シーズンのホームゲームで排出されるCO2を測定しました。また、排出されたCO2は、カーボン・オフセットによって実質ゼロにする取り組みを行いました。(*詳細は別途リリースの予定です)

取り組み 1 SDGsパートナーである e-dash株式会社ご協力のもと、 今シーズンのアルバルク東京の CO2排出量を算出・可視化します。



2022-23シーズンを通じたCO2排出量は1,212tでした。



排出したCO2は、他の場所で同じ量のCO2を減らす活動にお金を出す「カーボンオフセット」を利用して、カーボンニュートラルに取り組みます。



今回はブラジル アマゾンの 森林保護プロジェクトに 出資します。





PLANET

~みんなできれいに~ WE PICK UPプロジェクト

SDGsパートナーである株式会社山一商事とともに、株式会社ピリカの協力のもと、ごみ拾い活動普及に向け、「〜みんなできれいに〜 WE PICK UPプロジェクト」を10月4日(火)より実施しました。



ホームゲームへご来場される方々と一緒に、ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用し、ごみ拾い活動を行い、ポイ捨て状況を可視化し伝えるために、ピリカ協力のもとタカノメ自動車版も活用しました。

さらに、皆さまのSNSピリカを活用したごみ拾い活動は、ピリカ企業・団体版見える化ページ「WE PICK UP プロジェクト」ページにて可視化・共有しました。(*このプロジェクトは現在終了しています)



supported by 山一商事



プロジェクト結果 (2022年10月~2023年6月)

項目	数量
のべ投稿数	420投稿
のべ拾われた ごみの数	87,604個
のべ参加人数	796名

PLANET

TACHIKAWAハロウィンゴミ拾いウォーキングにアルバルクチアリーダが参加



立川市内で「TACHIKAWAハロウィンゴミ拾いウォーキング」が 行われました。立川プロスポーツ連絡会の所属団体の皆さまと一緒に、 アルバルク東京からは、アルバルクチアリーダーが参加しました。

ゴミ拾いを通してたくさんの方と交流し、楽しい時間を共有しました!

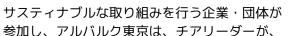






PLANET

SDGs体感エリア『ピースフォーアース」2023 「銀座サステナブルコレクション」 にチアリーダーが参加







参加し、アルバルク東京は、チアリーダーが、かわいいイラストの気候問題に関するSDGsクイズを実施。たくさんのご家族に参加いただき、会場はとても盛り上がりました。

また、他ブースの様々なサスティナブルの取り組みを学ぶこともできました。





PLANET

MYボトル推進プロジェクト

昨シーズンに引き続き、サーモス株式会社と 試合観戦時にマイボトルの使用を促すとと









もに、環境問題に関する意識向上の啓発活動として、試合会場でのプラスチックゴミ削減を目指すマイボトル推進プロジェクトを実施しました。 結果、昨シーズン対比で大幅な削減を実現することができました。

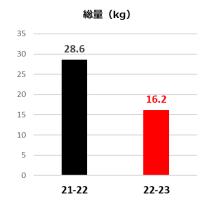
※国立代々木競技場 第一体育館の試合では、90Lのゴミ袋1袋当たり100本(1本20g)としてペットボトル用ゴミ袋の使用枚数から算出。アリーナ立川立飛の試合では、ペットボトルゴミを計量し算出しています。

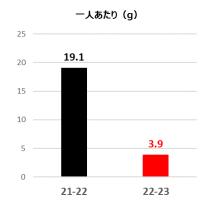
ALVARK TOKYO × THERMOS





一試合あたりのペットボトル平均廃棄量 の変化





PLANET

企画シート「マニフレックスシート」

今シーズンも、選手たちの睡眠をサポート頂いている マニフレックスより、プラスチック素材、金属スプリ







ングを一切用いない特製クッションを提供いただき、コラボ企画シートを設置しました。座面だけでなく背中部分にもリサイクル素材を採用し、座り心地が大幅にUP!SDGsを強く推進し、サステナブルも両立した特別シートで試合観戦をご堪能いただきました。





PLANET

企画シート「THERMOSシート」

マイボトル推進プロジェクトを通じて環境負荷の低減に取り組む、サーモス株式会社とのコラボ企画シートを設置しました。



このシートでは、サーモス真空断熱ジョッキでおいしい温度のドリンクを飲み 放題でご利用いただけます。使い捨てカップを使用せず、何杯飲んでもゴミゼ ロ。環境に優しい席でアルバルク東京の試合をお楽しみいただきました。







PLANET

CARBON NEUTRAL ACTION 強化月間



トヨタ自動車株式会社とともに、2023年1月を 『CARBON NEUTRAL ACTION』強化月間として取り組みました。

Tシャツアップサイクル ワークショップ

#2 藤永選手、#21 平岩選手が渋谷区立神南小学校を訪問し、児童のみなさん と一緒に不要になったTシャツからエコバッグ制作のワークショップを行い、 「アップサイクル」を体験しました。

また、『CARBON NEUTRAL ACTION』強化月間の試合会場でもワークショッ プを実施しました。不要になったTシャツをハサミだけで、縫わずに結んでア クセサリーに作り変えました。作製後、その場ですぐに身に着けてくれたお子 さまもいらっしゃいました。







※アップサイクルとは、本来であれば捨てられるはずの廃棄物に、デザインやアイデアと いった新たな付加価値を持たせることで、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変 わらせることです。

個人のCO2排出量測定









簡単なライフスタイルのアンケートに答えることで、自身のCO2排出量を計測で きるWEBサイトにて選手も計測しました。日ごろのライフスタイルを顧みながら、 実際にどれくらいのCO2を排出しているか数値を見て、意識を高めました。



水素燃料電池バス「CHARGING STATION」

移動式発電・給電システム「Moving e」による 電力供給水素で楽しく学べるブースを実施しました。 通常のホームゲームでも実施しているAR動画撮影や ルークロボも水素で発電した電気で運営しました。



選手の『CARBON NEUTRAL ACTION』をTikTokで公開

アルバルク東京公式アカウントにて、選手それぞれの『CARBON NEUTRAL ACTION』を公開しました。











PLANET

Re-CUPプロジェクト

包装容器の業界を牽引してきた東洋製罐 グループホールディングス株式会社と 『Re-CUPプロジェクト』に取り組みました。



アリーナでのプラスチックごみ削減の活動などを積極的に推進しており、 2022-23シーズンから、ホームゲーム会場での飲料提供において、リサイクル 可能な素材である、飲料用アルミカップおよび紙コップを採用し、これまでゴ ミとなっていたカップを、"洗う"ことで資源として循環させるための 「Re-CUP WASHER」を正式に導入しました。 16,431杯分の容器を分別回収できました(回収率約24%)。













PLANET

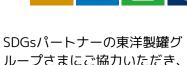
ルークのおうち&キャップゲーム 実施











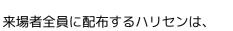
組立式段ボールテント"DAN DAN DOME"でつくる 『ルーク のおうち』を設置しました。

ダンボールでできたエコなルーク仕様のおうちではルークの似顔絵や応援メッ セージを書いて、みんなでルークのおうちを装飾したり、写真撮影で楽しみま した!

PLANET

ハリセン分別リサイクル





2021-22シーズンよりリサイクル可能な素材に 変更いたしました。

観戦後に不用となったハリセンは会場内に設置 された「ハリセン分別ボックス」で回収し、 古紙回収業者を通してリサイクルしています。 ご来場の際はぜひご協力ください!



CO

PLANET

アディダス共同キャンペーン 『move for the planet -地球のために、動き出そう。』

オフィシャルパートナーであるアディダス ジャパン株式会社が展開する、未来のスポーツ環境を守るための新たな世界規模のサステナビリティムーブメント「MOVE FOR THE PLANET(ムーブ・フォー・ザ・プラネット)」に賛同し、キックオフイベントに#9 安藤選手、#10 ザック選手、ルークが参加しました。イベントでは、サスティナビリティ、スポーツ環境に対するトークセッションや本プロジェクトの根幹でもある10分間のスポーツチャレンジを行いました。







PLANET

リサイクル鉛筆販売中!







17 パートナーシップで



軸に木のフシ等の不使用部分を除いた端材をつなぎ合わせる「ジョイント工法」によって再生された材料を使用したリサイクル鉛筆をグッズ売店にて販売中!

軸の塗装には水性塗料を使用しています。

PEOPLE

TOKYO UNITEへの参画

東京をホームタウンとする14のスポーツチーム、団体の 一員として「TOKYO UNITE」に参画しました。





経済環境など様々な事情によってスポーツをあきらめてしまう困窮家庭の子どもたちにスポーツシューズを届ける「#your shoes」では#9 安藤選手がシューズを提供し、プロジェクトに参加しました。

また、両国国技館で行われた小学生向けのマルチスポーツイベントでは、伊藤 大司GMとアカデミーコーチが、アルバルクチアリーダーが参加し、都内の小 学生とふれ合いました。

東京都が「世界から選ばれる都市」の実現を目指して、英語によるコミュニケーションの機会を増やすための新たなプロジェクト「LET'S T.E.A.M. UP!@Daimaru-Yu」のキックオフイベントには#53 カーク選手が参加しました。











※TOKYO UNITEとは、東京をホームタウンとする14 のスポーツチーム・団体が、競技の壁を越えて協力し合い、新たな価値を生み出すことを目的とした社会イノベーションおよび相互マーケティングプロジェクトです。14 のチーム・団体が相互に知見やノウハウを共有することで、東京におけるスポーツの発展やブランディング向上に寄与していくほか、東京が抱えるさまざまな社会課題と向き合い、関係するステークホルダーと連携し、アクションを起こしていきます。

PEOPLE

子どもたちを応援!選手が夢を叶えま す!!by KINTO







オフィシャルスポンサーの株式会社KINTOのご協力のもと、夢企画「子どもた ちを応援!選手が夢を叶えます!! by KINTO」を実施しました。 当選者の兄弟の夢「カーク選手と1on1」を叶えた瞬間はYouTubeでご覧いた だけます。

PEOPLE

立川市立立川第七中学校 支援









2022年6月に体育館が火災に遭った、立川第七中学校にバスケ部に、バスケッ トボール寄贈、バスケットボール部試合招待、バスケクリニック(講師:アレ ックス・カーク選手、岡本選手、協賛:KINTO株式会社)を実施しました。 立川第七中は、2018年に#10 ザック選手が学校訪問をしたご縁もあり、今回 の支援に至りました。アルバルク東京は、今後も継続して立川第七中学校及び 立川市内の小中学校をサポートしてまいります。

PEOPLE

育て上げネット × アルバルク東京 職業体験









認定NPO法人育て上げネット様が支援する若者・子どもたちに、試合観戦およ び職業体験をしていただきました。試合前には、会場内を案内し、試合会場で どのようなことが実施されているのか、どのような人が関わっているのかを紹 介し、試合観戦後には、実際に会場撤収作業を手伝っていただきました。

※認定NPO法人育て上げネットとは、すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と 「働き続ける」を実現できる社会をめざし、若者と社会をつなぐサポートを行っています。

PEOPLE

渋谷どこでも運動場プロジェクト





渋谷をもっと健康で、もっと楽しいまちに。「渋谷どこでも 運動場プロジェクト」がアルバルク東京ホームゲームに登場! だれでも参加可能で、手ぶらで楽しく身体を動かせる広場を実施しました。

※渋谷どこでも運動プロジェクトとは、渋谷区民や区内在勤・在学の方が、近くの公園や広 場、道路など様々なスポットを利用して、まちの中でみんなが気軽に体を動かせる「運動 場」をひらくプロジェクトです。







PEOPLE

工房ぱれっとの見学

アルバルクチアリーダーのERI、RENAが、 渋谷区にある「工房ぱれっと」へ見学に行きました。



実際に働いている方とシブヤフォントの原画をみながら、どのような思いで描 いたのか、何を表現しているのかなどをお伺いしました。

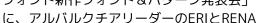


※工房ぱれっとでは、メンバーの個性やアイディアを 活かしながら、オリジナルキャラクターの「らぶら び」、ヘアゴム、クリスマスリースを始め、アートワ ークにも力を入れ、障がいのある人たちが描いたイラ ストやパターンなどをバラエティ豊かな製品にアレン ジして製造販売をしています。

PEOPLE

2022年シブヤフォント 新作フォント&パターン発表会に参加

渋谷区内で開催された、「2022年シブヤ フォント新作フォント&パターン発表会 |



が、審査員として参加いたしました。たくさんの素敵なデザインの中から、 「アルバルク東京賞」として、「ワークセンターひかわ」さまを選出させてい ただきました。







PEOPLE

シブヤフォント コラボグッズ販売

一般社団法人シブヤフォント様とのコラボグッズを 販売しました。今後も、アルバルク東京は、







バスケットボールを通じて社会課題の解決に寄与し、世の中が元気になるよう な取り組みを継続して行ってまいります。







PEOPLE

立川福祉作業所 訪問

アルバルクチアリーダーが立川福祉作業所を訪問し、 施設や利用者の方々のお什事の様子を見学しました。







立川福祉作業所は、生活介護・就労継続B型・就労移行を行う、障害福祉サー ビスの施設で、併設しているベーカリー&カフェ「BAKUBAKU」にもお伺いし ました。ホームゲームにも出店していただいたベーカリーのパンは、立川福祉 作業所の利用者とスタッフが製造しています。

パンの売上金は、利用者の工賃として活用されます。







PEOPLE

ピンクリボン運動





もっと皆さんにも乳がんについて知ってほしい、自分の体を大事にしてほしいという思いから、毎年10月にピンクのバッシュを履くなどのピンクリボン活動を行うザック・バランスキー選手。アルバルク東京は、ザック選手を中心に、クラブとしてもピンクリボン活動を推進しています。今シーズンは、新ホームアリーナである国立代々木競技場第一体育館にて、あらためてファンの皆さんにピンクリボン月間について知ってもらうため、歴代のピンクバッシュ展示やハッシュタグキャンペーンを実施いたしました。

協力: adidas 東京都 文京区 渋谷区 立川市 府中市

PEOPLE

オレンジリボン運動



オレンジリボンは、子ども虐待防止運動のシンボルです。



-M/•

アルバルク東京では、11月のホームゲーム・SNS・まちなか等において、ポスターや動画を通して、オレンジリボンの啓発運動を行いました。選手がオレンジ色のバッシュを履いたり、スタッフがオレンジリボンを着用したりしました。

協力:認定特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク、渋谷区、 府中市、立川市 文京区、Tokyo里親ナビ

PEOPLE

歳末たすけあい運動

12月のホームゲームにて「歳末たすけあい 運動」に参画し、募金活動を実施しました。









この運動にて集まった募金は、渋谷区社会福祉協議会様・立川市社会福祉協議会様を通して、それぞれの地域の福祉活動を進めるために活用させていただきます。また、この活動を評価いただき、立川市社会福祉協議会さまより感謝状を拝受しました。

- ◆渋谷区:こどもテーブル支援事業や、紙おむつ購入、やすらぎサービス事業、区内要 援護者への支援金など
- ◆立川市:住民の交流の場づくり『支えあいサロン』、成年後見制度の普及・啓発、地域活動や市民活動の周知『あいあい通信やまちねっとの発行』など







※歳末たすけあい運動とは、毎年12月に共同募金運動の一環として全国一斉に実施される 運動です。この運動は戦後の混乱期に、市民のたすけあいの精神により、生活に困窮する 人たちに対する物資の持ち寄り運動として始まりました。その後、時代や福祉課題の変化 に応じながら、地域での安心・安全な暮らしを支えるための貴重な募金として、さまざま な取り組みに活用されています。



PEOPLE

フードドライブ

を実施しました。 10月に回収した食品50.7Kg、



文具12.4Kgは、渋谷区社会福祉協議会を通じて、フードバンク渋谷に寄付しま した。12月・1月には計53.2gの食品が集まりました。立川市社会福祉協議会様 を通じて、立川市内の子ども食堂に寄付しました(冠:トヨタS&D西東京株式会社)。







※フードドライブとは、家庭や職場等で「まだ食べられるのに余っている食品」など、や **むなく破棄されてしまう食品を、経済的に困窮している方(ひとり親家庭やその子どもた** ち、求職中の方)など、さまざまな理由で、食事に不自由されている方への支援に活用す る活動です。

PEOPLE

東京都による英語のコミュニケーションを 広げるプロジェクトに参加



東京都による「英語をもっと楽しく!もっと身近に!英語のコミュ ニケーションを広げるプロジェクト キックオフイベント」に #53 カーク選手が参加しました。

東京都では「世界から選ばれる都市」の実現を目指して、日本人の英語力向上 に向けた取り組みを推進しています。

アルバルク東京は今後もTOKYO UNITEの一員として、各チーム・団体と協力 してスポーツの魅力を高めるとともに、様々な社会課題と向き合いアクション を起こしていきます。





PEOPLE

国際女性デー



3月8日の「国際女性デー」に、アルバルク 東京もサポーターとして参加している

「Women's Wellness Action from Shibuya」のイベン

「渋谷ではじめる、わたしたちのウェルネス・アクショ ン! | に参加しました。女性が日々直面する女性特有の 健康課題への認知を拡大し、解決のための行動を促進す るためのディスカッション・イベントで、女性の健康や ライフイベントに関わる悩みについて語り合い、これか らのアクションを宣言しました。

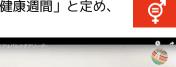
PEOPLE

女性の健康週間

厚生労働省では、毎年3月1日から3月8日を「女性の健康週間」と定め、 女性の健康づくりを国民運動として展開しています。

定期的な検診を受け、身体も心も健康で 過ごしていただけるよう文京シビックセン ーにて、「TOKYO#女子けんこう部」 京都福祉保健局ポータルサイト)の 動画の放映など展示を実施しました。

協力:東京都、文京区





5 ジェンダー半等! 表現しよう

PEOPLE

スペシャルオリンピックス日本 アスリートアンバサダー来場

SDGs (持続可能な開発目標)の理念である"誰一人取り残さない"社会を実現するため、スペシャルオリンピックス日本様との取り組みを継続的に実施しております。



スペシャルオリンピックス日本 アスリートアンバサダー2名にホームゲーム会場にご来場いただきました。

アスリートアンバサダーから「練習でケガをしない様に気を付けていること」「試合に臨む心構え」「仲間とのつながり」などについて質問され、#2藤永選手、#10ザック選手、#21平岩選手との交流を深めました。

アルバルク東京は、今後も継続してスペシャルオリンピックス日本を支援して まいります。



※アスリートアンバサダーは、自身がスペシャルオリンピックス(SO)活動で体験したことや想いを発信し、今よりも広く多くのかたにスペシャルオリンピックス活動そしてアスリートを知っていただけるよう、年間を通した広報活動を行っていきます。

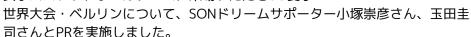
また、この事業を通して、本来の持っている力を発揮する機会や、より成長できるような プログラムを提供し、アスリートたちが、学び、チャレンジしていく姿を発信していきま す。

PEOPLE

スペシャルオリンピックスデー

今年で6回目となるSOデーでは、SO日本選手団・ 女子バスケットボールチームに来場いただきSO夏季





アルバルクチアリーダー、チアグランパス、SON・東京競技チアのアスリート によるユニファイドチアも実施しました。

来場いただいたファンの皆さまからは応援旗に応援メッセージも頂きました。









※スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的障がいのある人たちに、継続的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。



PEOPLE

児童養護施設との交流を実施

アルバルクチアリーダーが児童養護施設を訪問し、 都内の児童養護施設と交流企画を実施しました。



アルバルクチアリーダーとはダンスを通して、身体を動かす楽しさを共有し、 子どもたちからプレゼントされた応援メッセージ幕を見て、選手やチアリーダーもパワーをもらうことができました!

協力: NPO法人ハンズオン東京







PEOPLE

「アルバルク東京算数ドリル」を 東京都内の公立小学校に無償配布









スポーツの魅力を感じながら子どもたちが楽しく算数を学ぶことができるように、バスケットボールやアルバルク東京の選手・チアリーダー・マスコット等に関連した問題で構成されたドリルです。

東京都内9箇所の自治体の公立小学校全229校の小学校6年生(約21,000人) を対象に無償配布し、授業をサポートする副教材として、算数の授業・家庭学 習・総合的な学習の時間などで活用いただいています。

PEOPLE

スマイルダンスプロジェクト

損害保険ジャパン株式会社と共に、児童館で実施するアルバルクチアリーダーによるダンス教室は、2年目となる今シーズン、対象を放課後等デイサービスに通う障がいのある子どもにも拡大し、調布市・三鷹市・渋谷区・立川市の児童会館、放課後等デイサービスにて実施しました。



これからも損保ジャパンとアルバルク東京は、本プロジ の子どもたちへ笑顔と希望を届けてまいります。

運営協力:特定非営利活動法人日本NPOセンター







PEOPLE

SPECIAL AUCTION

選手のサイン入りフォトパネルや2022-23シーズンのホームゲーム 会場に掲出していた選手ロールアップバナーに選手、選手サインを 入れてオークションに出品しました。



このオークションの収益の一部は、ALVARK Willの活動に活用いたします。











PEOPLE

アルバルクチアリーダーが小学校を訪問

アルバルクチアリーダーが小学校を訪問しました。







ALVARKWIIIの一環として、1年生のクラスと防災 ダンス(じしんダンゴムシ体操※)を一緒に踊りました。ダンスを通して、 災害時にも役立つ行動を音に合わせながら楽しく学んでいただきました。

アルバルクチアリーダーが大切にしている「元気」、「笑顔」、「思いやり」、「ありがとう」の4つをポイントを伝えながら、一緒にダンスを楽しみました。

今後もアルバルク東京は、ホームタウン渋谷区を中心に東京のみなさまが健康 で、安全に住み続けられるまちづくりに貢献していきます。









※じしんダンゴムシ体操とは、地震が発生し、机が近くにないときにとる「だんごむしのポーズ」をテーマにしたダンスです。「慌てない」「騒がない」「物が落ちてこない、倒れてこない場所を見つける」など、ポーズを取る前の確認事項も歌われているため、ダンスを通じて、地震発生時に取るべき行動の流れを習得することができます。

(監修:慶應義塾大学防災社会デザイン研究室)

PEOPLE

アルバルクチアリーダーが中学校を訪問

アルバルクチアリーダーが中学校を訪問し、中学2年生にダンスの授業 を実施しました。



訪問した松濤中学校とは、昨年度アルバルクチアリーダーが振り付けしたダンスを、動画を通してオンラインで交流をしました。

授業では、はじめにクラブスタッフからクラブや試合運営に関わる業務などに ついて紹介し、その後チアリーダーによるダンスレクチャーを行いました。





PEOPLE

プログラミング教室を開催

オフィシャルパートナーの株式会社トヨタシステムズ様 サポートのもと、アルバルク東京U15選手に向けた、





プログラミング教室を開催しました。夢に向かう若い世代へ学習の場を提供いただき、能力強化支援とともに、コラボレーション企画実施によるパートナーシップ強化となりました。







PEOPLE

アルバルクチアリーダーが 放課後子ども教室を訪問

アルバルクチアリーダーが「拡充型放課後子ども 教室」実施校である立川市立第二小学校の放課後 子ども教室を訪問しました。







アルバルク東京のクラブ紹介や、試合運営のお話、ALVARK Willの取組を紹介し、みんなで防災ダンスを実施しました。ダンスを通して、防災時に必要な3つのポーズを、身体を動かしながら、一緒に楽しく学びました。

また、カーボンニュートラルアクションにつながるアップサイクルワークショップを実施し、子どもたちと一緒に、Tシャツでエコバッグづくりをしました。





※拡充型放課後子ども教室とは、立川市が、子どもたちが放課後等に学校施設内で安全・安心に伸び伸びと毎日過ごせるよう、拡充型放課後子ども教室を令和4年度からスタートしました。令和5年度より、「放課後子ども教室くるプレ」に名称が変更されます。

PEOPLE

スポーツクラブ初! 「IKOU ポータブルチェア」導入

乳幼児向けインクルーシブブランド IKOU(イコウ)が 製造・販売する「IKOUポータブルチェア」を 正式導入しました。







障がいの有無にかかわらずキッズチェアとしてお使いいただける「IKOUポータブルチェア」の導入によって、小さなお子さま連れのファミリーがスポーツ 観戦をより身近に感じられる、インクルーシブなアリーナ環境を実現します。





PEOPLE

マスコットキャラバン実施

マスコットキャラクターの「ルーク」と、アルバルクチア リーダーが保育園を訪問し、マスコットキャラバンを実施 しました。





園児の皆さんと一緒に、ダンスを通して身体を動かすことの楽しさを共有しました。









PEOPLE

選手が「総合的な学習の時間」に参加

#2藤永佳昭選手と#21平岩玄選手が、渋谷区立神南小学校を訪問し、 5年生を対象に、SDGsに関する授業、そしてバスケットボールの授業を 実施しました。



「シブヤ科」という総合的な学習の時間で、「観光」をテーマに取り組んでいるということで、児童の皆さんにはその学習内容の発表をしてもらい、そしてアルバルク東京からは、「ALVARK Will」で取り組んでいるSDGsの取り組みに関してお伝えしました。また、「アップサイクル」を体験するエコバッグ制作のワークショップを選手と一緒に行いました。









PEOPLE

神南小学校児童による「渋谷みやげ」販売

神南小学校児童による「渋谷みやげ(エコバッグ)」販売を試合会場で実施しました。







児童の皆さんは手作りのPOPで呼び込み、デザインの意味も自分の言葉で説明 しながら丁寧に接客をしていました。とても有意義な販売体験の場となりまし た。





PEOPLE

「渋谷おとなりサンデー」にブース出展

「渋谷おとなりサンデー」にブースを出展しました。







「アパレルの街・千駄ヶ谷」で環境意識を育てられる
Tシャツアップサイクル体験とミニシュートチャレンジのブースを出展し、参加していただいた方にアルバルク東京オリジナルグッズをプレゼントしました。





渋谷おとなりサンデーとは、2017年から「6月の第一日曜日は"渋谷おとなりサンデーの日"」と決め始まった、おとなりさんと知り合いになろう!という日です。

PEACE

SDGsを学ぶ研修を実施

カードゲーム「2030 SDGs」を教材としてSDGsに関する 研修を実施いたしました。





「社会貢献活動」として、地域の方々と様々な取り組みを進めています。今回の研修では、ゲームを通じてSDGsへの理解をより深め、自分事としてとらえて、プロバスケットボールクラブとして自分たちに何ができるかを考えることを意図して実施いたしました。













PEACE

渋谷区と「S-SAP協定」を締結

渋谷区内に拠点を置く企業や大学等と区が協働して 地域の社会的課題を解決していくために締結する







公民連携制度であるS-SAP(シブヤ・ソーシャル・アクション・パートナー) 協定を締結しました。

渋谷区の基本構想では、健康・スポーツ分野において「思わず身体を動かしたくなる街へ。」を掲げ、渋谷区自身を「15k㎡の運動場」と捉え、日常的な運動も、楽しみで行うスポーツも、すべてが暮らしに溶け込むようなまちづくりを進めています。





Shibuya City Social Action Partner

PEACE

「女性に対する犯罪被害防止講話」を受講

富坂警察署様にご協力いただき、アルバルクチアリーダーが「女性に 対する犯罪被害防止講話」を受け、ストーカー被害や盗撮被害の防止に ついて学びました。









PEACE

PEACE

春の交通安全運動キック・オフ・イベントに参加

玉川警察署主催「令和五年春の交通安全運動キック・オフ・イベント」 に、アルバルクチアリーダーとルークが参加しました。



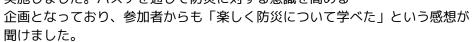
一日警察署長の井頭愛海さん、ピーポ君と一緒にトークショーに参加し、交通 安全について学びました。





防災バスケ

B.LEAGUE主催の防災企画「防災バスケ」をアカデミー対象に 実施しました。バスケを通して防災に対する意識を高める







PEACE

TMC交通安全運動

ぬり絵をしながら交通安全を学べたり、夜道で身を守る 反射材キーホルダーの手作りブースを実施しました。



参加者には交通安全の冊子もプレゼントし、交通ルールを楽しく学べる機会と なりました。





PEACE

モビリタ研修

アルバルクの選手・スタッフで静岡県にあるトヨタ交通安全センター モビリタで運転講習を実施しました。クルマの限界や運転の楽しさを 安全に体感することができ、自分の計測データをもとに、運転の特徴やスキル を確認し、レベルアップに向けたアドバイスをしていただきました。







16 平和と公正を すべての人に

PEACE

『渋谷防災キャラバン』に ルーク・アルバルクチアリーダーが出演

『渋谷防災キャラバン』にルーク・アルバルクチアリーダーが 出演いたします。「防災クイズ」にチャレンジしたり、応急 救護訓練(AED)の体験をして、参加者のみなさんと防災の知識を高めました。 「防災ダンス」をレクチャー、ダンスをしながら楽しく災害時に役立つポーズ を身に着けました。







PEACE

ウクライナ避難民支援募金

ウクライナ避難民支援として、募金活動を実施しました。



13 気候変動に

この活動にて集まった募金は、日本財団様を通して、ウクライナ避難民支援基金に寄付され、ウクライナ避難民の日本語教育等へ充てられます。

協力:公益財団法人日本財団

寄付先: ウクライナ避難民支援基金



PEACE

「ALVARK Willシート」実施

SDGs (持続可能な開発目標)の理念である"誰一人取り残さない"社会を実現するため、プロスポーツ観戦の機会を提供するホームゲーム招待事業を昨年に引き続き実施しました。





趣旨にご賛同いただくパートナーのご支援を得て「ALVARK Willシート」を定期的に無償提供するものです。2022-23シーズンのホームゲーム通算で、31 団体1,189名様を試合にご招待させていただきました。ご支援をいただきました各社様に改めてお礼を申し上げます。

アルバルク東京は、今後も継続して家庭環境、経済環境に関係なくプロスポーツの試合観戦を頂ける機会を提供し、プロスポーツを通じて多くの方に夢や感動を伝えるための活動を実施してまいります。































PEACE

TOKYO TAIKEN MARCHE in SHIBUYA にルーク・アルバルクチアリーダーが出演

「TOKYO TAIKEN MARCHE in SHIBUYA」のステージでは、 アルバルクチアリーダーとルークが登壇し「チアダンス」





「防災ダンス」をレクチャー、音楽に合わせて体を動かす楽しさや命を守るた めのポーズを体験してもらいました。

今後もアルバルク東京は、東京のみなさまが健康で、安全に住み続けられるま ちづくりに貢献していきます。





17 パートナーシップで

8

PEACE

HUB渋谷2号店をアルバルク応援店舗として設定いただき、 2023年1月18日(水) 群馬戦以降の全試合を店内で放映いただきました。 更に、アルバルク応援メニューも販売いただき、その売上の一部は、 「ALVARK Will」の活動資金に充てられます。

パートナーシップを通して、ファンの方々にも「ALVARK Will」の活動に参画 いただき、"WE"の力で活動の幅をより広げてまいります。

HUB渋谷2号店での応援メニューによる支援





Change Makers Fes2023~世界を変えるキミに、この日を。~ にルーク・アルバルクチアリーダーが出演

8 チェンジメーカー・フェスは、社会課題に対しアクションを起こした 若きチェンジメーカーたちが集うライブイベントです。アクションを 起こす子どもや若者を応援したい!という想いを持った著名人たちもイベント にお祝いに駆けつけました。カナダのFree The Childrenが始めたイベント 「WE DAY」をモデルに、その日本版として初めて大規模に開催されました。





PEACE

修学旅行生の実習受け入れ

修学旅行で課題として設定された「IDEAS for GOOD SDGs 探求ツ アー」という工程の中で、アルバルク東京の社会的責任プロジェクト 「ALVARK Will」に興味を持った生徒から学校を通じで依頼を受けたもので、 16名の生徒の皆さまに実際にホームゲーム会場にお越しいただき、アルバルク 東京の活動を紹介させていただきました。





17 パートナーシップで

3 すべての人に

2022-23 SDGsパートナー一覧

社会課題・社会問題の改善、SDGsの達成に向けて、多くのパートナー企業にご支援いただいています。







でみで、地球を救いたい。































2022-23シーズン活動報告

トヨタアルバルク東京株式会社